

自動施錠 両面ボタン 取付説明書

— 22443, 22443M, 22463, 22463M —
— 22643, 22643M, 22663, 22663M —

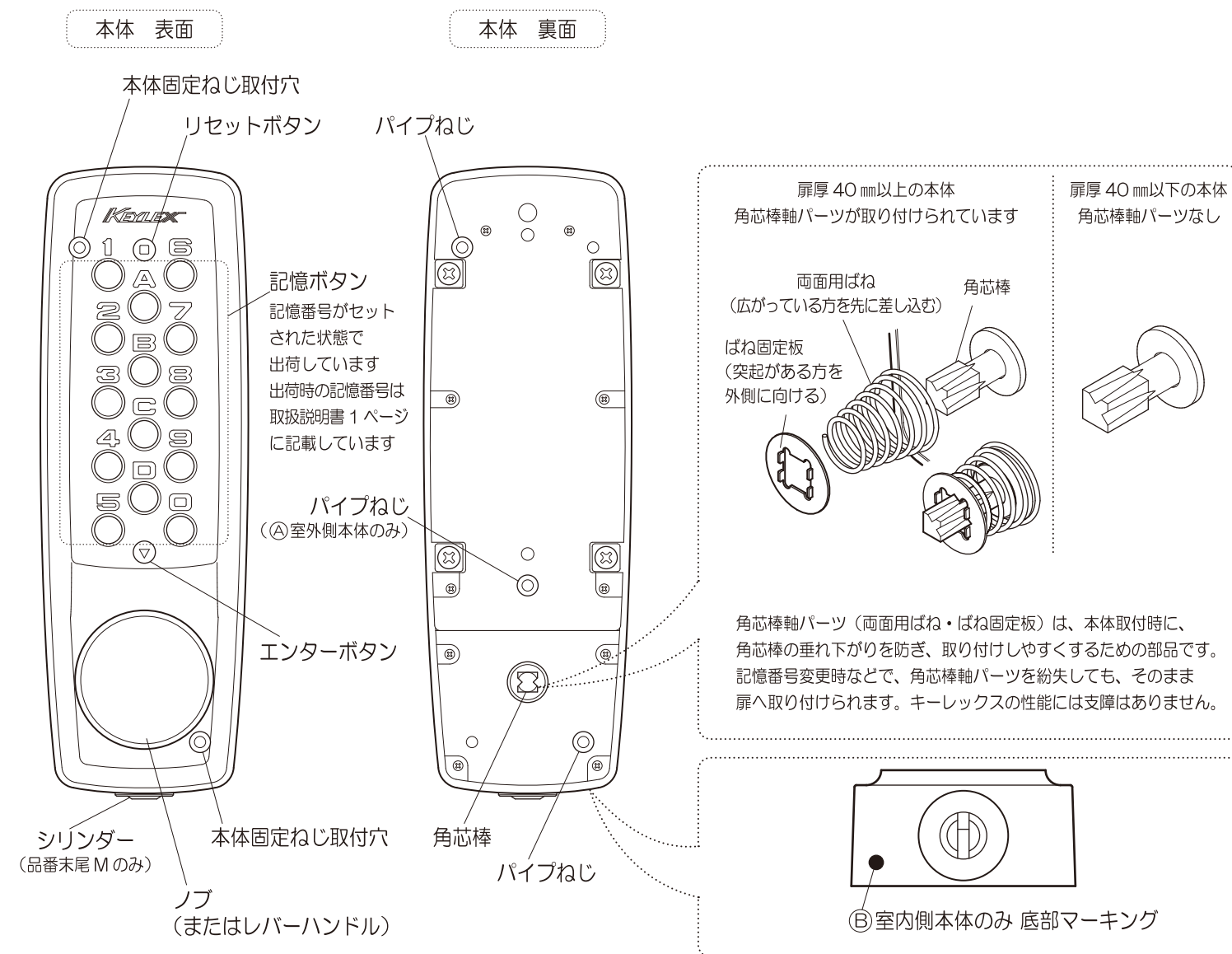


このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。
締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください

パイプねじ 3本 底部マーキングなし Ⓐ KL 22443(M) 室外側本体 1	パイプねじ 2本 底部マーキングあり Ⓑ KL 22443(M) 室内側本体 1	パイプねじ 3本 底部マーキングなし Ⓐ KL 22463(M) 室外側本体 1	パイプねじ 2本 底部マーキングあり Ⓑ KL 22463(M) 室内側本体 1	パイプねじ 3本 底部マーキングなし Ⓐ KL 22643(M) 室外側本体 1	パイプねじ 2本 底部マーキングあり Ⓑ KL 22643(M) 室内側本体 1	パイプねじ 3本 底部マーキングなし Ⓐ KL 22663(M) 室外側本体 1	パイプねじ 2本 底部マーキングあり Ⓑ KL 22663(M) 室内側本体 1	Ⓒ 本体固定ねじ M5× 扉厚に応じた長さ 4	Ⓓ 両面用ねじ受け 1	Ⓔ 本体仮止めねじ M5× 扉厚に応じた長さ 1	Ⓕ 錠 set 1	Ⓖ 受座 set 1	Ⓗ 錠・受座取付ねじ M4× 長さ 25mm 4	Ⓘ 取扱説明書 set 1	Ⓙ キー (品番末尾 M の Ⓘ に同梱) 2
---	---	---	---	---	---	---	---	------------------------------------	------------------------	-------------------------------------	----------------------	-----------------------	-------------------------------------	--------------------------	--

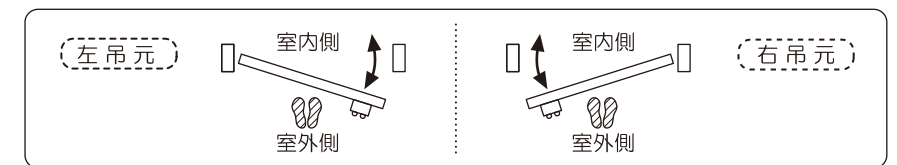
1 各部の名前： キーレックス 2100 での説明ですが、キーレックス 1100 も同様です



2 取付前の準備： ⑤ 作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

【1】扉の吊元の確認

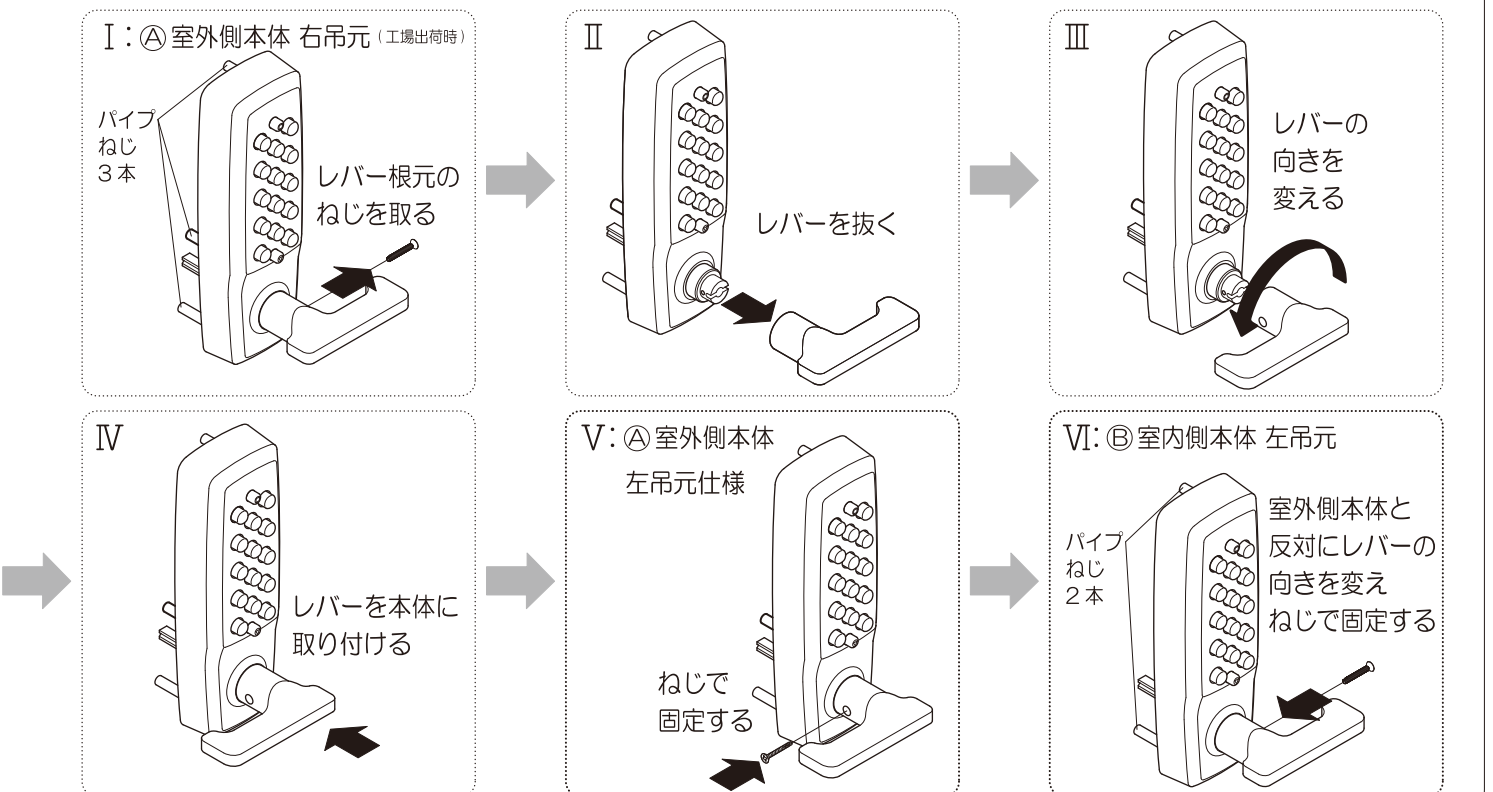
室外側から見て、扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します。



【2】キーレックス本体の吊元対応

レバータイプのキーレックスは左吊元時にレバーハンドルの向きを変える必要があります。工場出荷時は右吊元位置に取り付けてあります。

左吊元時は、Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体共に、レバーハンドルの向きを変え固定します。

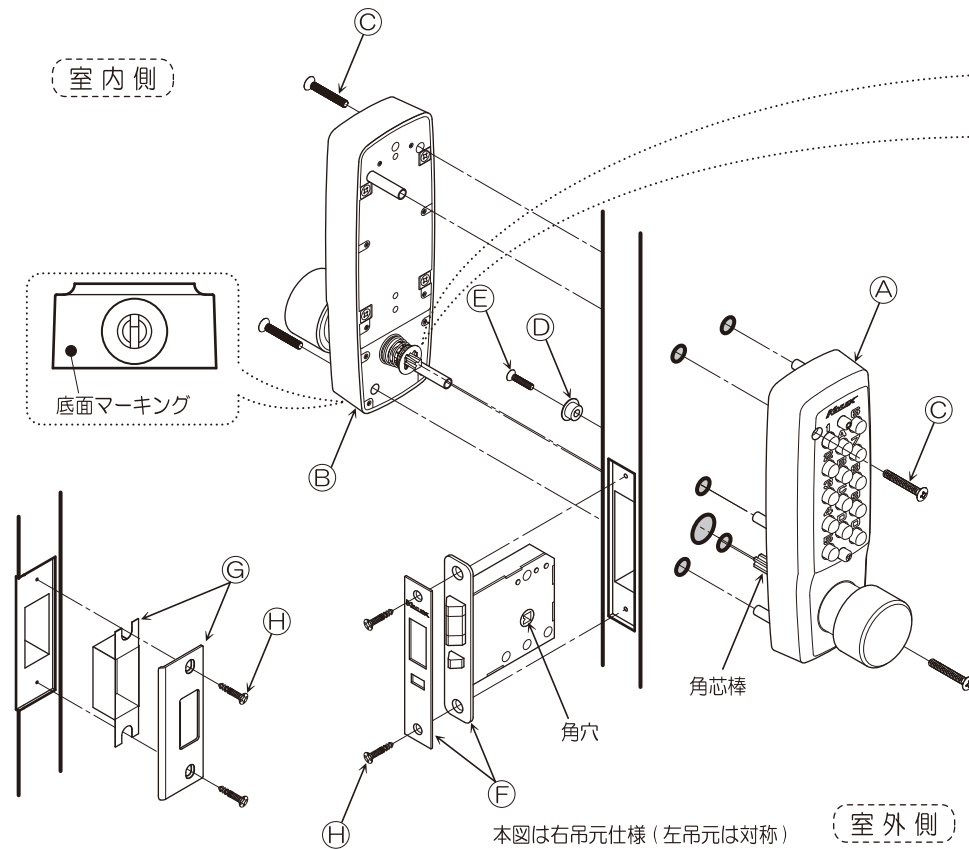


※ 両面ボタンタイプの為、空錠切替機能・デッドロック機能はありません。ご注意ください。

3 扉への取り付け穴加工

Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体・Ⓔ 錠 set・Ⓒ 受座 set の取り付け穴加工をします。
(KL2100・1100 自動施錠 両面ボタンタイプ専用切欠図参照)

4 錠・受座・キーレックス 2100 (1100) 両面ボタンの取り付け



※ Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体の記憶番号を変更するときは、ここでおこないます。
右欄『記憶番号の変更方法』参照

※ 鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。

I: Ⓔ 錠 set を、Ⓗ 錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。

II: Ⓒ 受座 set を、Ⓗ 錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。

III: 室外側に、Ⓐ 室外側本体 (裏側パイプねじ 3 本・底面マーキングなし) をセットし、
Ⓓ 両面用ねじ受けと、Ⓔ 本体反止めねじで固定します。

IV: 室内側に、Ⓑ 室内側本体 (裏側パイプねじ 2 本・底面マーキングあり) をセットし、
Ⓒ 本体固定ねじ 2 本で、Ⓑ 室内側本体を固定します。

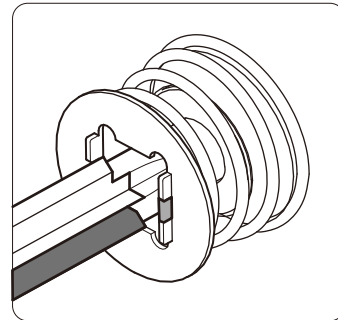
V: Ⓒ 本体固定ねじ 2 本で、Ⓐ 室外側本体を固定します。

※: 取り外しの時は、底面マーキングありの、Ⓑ 室内側本体を外してから、仮固定してある Ⓐ 室外側本体を外します。

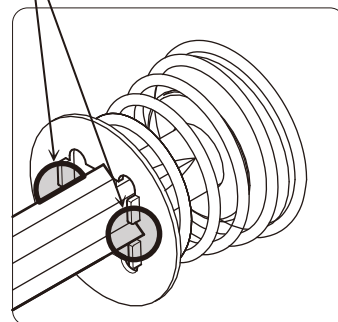
【扉厚 40 mm 以上の場合】

Ⓐ 室外側本体、Ⓑ 室内側本体 裏側の
角芯棒軸パーツのばね固定板の位置を調整する

① ばね固定板を角芯棒の根元まで押し込み、
ばね固定板を45度回転させて
ばね固定板の突起と突起の間 ■ に
角芯棒の角 ■ をセットする。



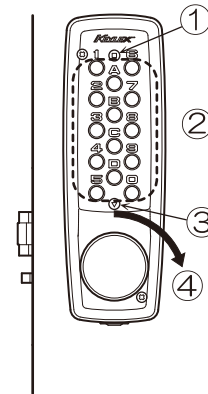
② ばね固定板を動かしながら位置を調整し、
ばね固定板の突起と突起の間、
対角2か所それぞれに角芯棒の角が
嵌め込まれているを確認する。



5 作動確認: レバーハンドルが作動しない場合は、② ④ をもう一度確認してください

本体は Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体とも確認します

解錠



解錠

① リセットボタンを押します。
(誤操作の記憶番号が解除されます)

② 現在の記憶番号を押します。

③ エンターボタンを押します。

④ ノブ (レバー) が動くことを確認します。

※ ボタンを押しながら、ノブ (レバー) 操作をしない。

※ 反対側本体も確認します。

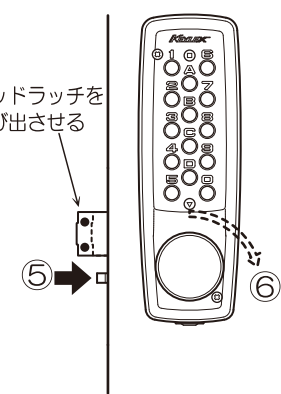
施錠

⑤ 錠のトリガーを押し、デッドラッチを
飛び出させます。(施錠状態にする)

⑥ ノブ (レバー) が動かないことを確認します。

※ 反対側本体も確認します。

施錠



鍵付タイプの場合は、ボタン操作を行わずに、キー操作でも解錠できます。

解錠: ① シリンダーにキーを入れて回し、デッドラッチが引き込まれることを確認します。

記憶番号の変更方法: 取り付けと逆の順序で扉から取り外して記憶番号の変更をします

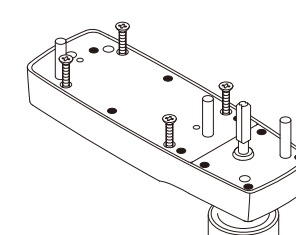
Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体それぞれに、記憶番号が設定できます。

I: 本体表側のリセットボタンを押す。
⑨まで記憶ボタンは押さないで
ください。

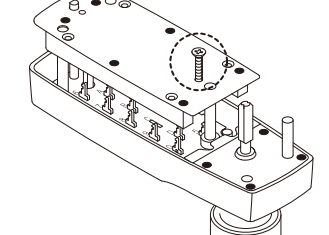
リセットボタンを
押さないと、内部部品が
破損する場合があります。
必ず押してください。



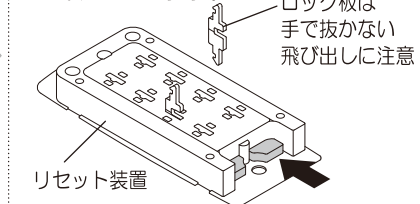
II: 本体裏のねじ 4 本をはずす。
(赤色ねじははずさない)



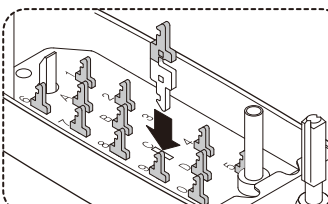
III: ねじを下図の位置に入れ
持ち上げる。



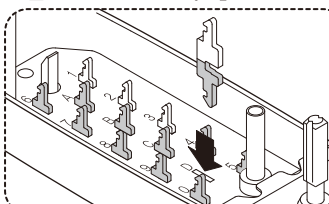
IV: リセット装置にロック板が残っ
た場合、灰色部を矢印方向に
押しはずす。



V: 今までの記憶番号を消す: 白色
のロック板を赤色に差し替える。



VI: 新規記憶番号をセット: 新しく
記憶させる番号のロック板を白
色に差し替える。【下図 123D】



⑦ 新しい記憶番号を必ず記録します。別紙取扱説明書 1 ページに記入欄があります。

⑧ リセットボタン + 新しい記憶番号 + エンターボタンを押し、ノブ (レバー) が解錠方向に回ることを確認します。

⑨ ④ 取り付けと ⑤ 作動確認をします。

NAGA
SAWA

株式会社 長沢製作所

www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 06-6783-5092